

前置詞でつなぐ (標準)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 群動詞とつなぎことばを使い、予定の変更と気持ちを伝えられる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

We had to put off our club trip because of the typhoon.

台風のため、部の遠征を延期しなければならなかった。

However, our coach found a new date in the middle of October.

しかし、顧問が10月中旬に新しい日を見つけてくれた。

Now I am looking forward to going there with everyone.

今は、みんなでそこへ行くのが楽しみだ。

型で書く 型で書く—変更・つなぎ・気持ち 思考・判断・表現

内容は自由。形だけ型どおりに。書けたら隣の人と交換して、前置詞のうしろの形とつなぎことばのコンマだけをチェックし合おう。気づき: (2) の However は文を切ってから使います。(3) の to は前置詞なので、うしろが -ing になっていることを確かめて。

(1) We had to put off _____ because of _____. 延期したこと

(2) However, _____. そのあと起きたこと

(3) Now I am looking forward to _____ing. 今楽しみなこと

ペアで話す ペアで話す—予定の相談インタビュー

交代で質問→答えは1文+ひとこと補足。答えに Why? か What happened? を1回は返す。気づき: 答えに群動詞 (look after / put off / turn down) が出たら、前置詞まで含めて繰り返すと形が身につきます。

(1) What are you looking forward to this month?

今月楽しみにしていることは?

(2) Have you ever had to put off something important?

大事な予定を延期したことは?

(3) Who looks after your pet when you are away?

留守のあいだ、ペットの世話はだれが?

(4) Are you used to getting up early?

早起きには慣れている?

あいづち・返しの型: (Why?) (What happened?) (Same here.) (That sounds tough.) (Good luck.)

前置詞でつなぐ (標準) | 自分の番

年 組 番 名前 _____

書く 自分の番—60語前後で書く 思考・判断・表現

Write about a plan that had to be changed. (変更しなければならなかった予定について書く)

①もとの予定 (場所と時の前置詞を入れて) ②何が起きて、どう変わったか (put off / call off などの群動詞) ③つなぎことばで流れを示す (However / Therefore / In addition) ④今の気持ち (look forward to + -ing) —の4段で、60語前後。群動詞を2つ以上使う。

評価 先生はここを見ます (加点式)

群動詞を2つ以上、前置詞まで正しく使えている	+4点
前置詞のうしろが名詞か -ing になっている	+3点
自分にしか書けない具体がある (いつ・どこで・だれと)	+2点
50語以上書けている	+1点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直しで扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ